

開会のあいさつ



とうじょう たけい
1910年高知生れ。東大卒。
北海道拓殖銀行頭取をへて、現在
北方圏センター会長・北海道旅客
鉄道会長

東条猛猪実行委員長

本日カール一六世グスタフ国王陛下のご臨席を仰ぎ、オルビング王立理工学アカデミー会長、イペロート瑞日研究開発基金名誉総裁、横路知事、伴北海道大学長並びにスウェーデン側および日本側の関係者のご協力のもとに、この環境問題シンポジウムを開催できますことは、私も北海道側の関係者にとりましてこのうえない光栄であり、大きな喜びでございます。

今日、環境問題は、地球的な安全保障に対する脅威として世界全体の課題となっております。これまでの歴史にはみられなかった地球の温暖化、気候変動、オゾン層の破壊、酸性雨など、地球環境に重大な影響を及ぼすこれらの問題の大半が、人間社会の技術的発達に起因するものであることを考慮いたしますとき、世界のあらゆる国、あらゆる市民がこの事態を認識して、根本的な対策に取り組まなければならない時がきているものと考えます。

本日は、スウェーデンから四人の専門家をお迎えして、スウェーデンの環境問題への認識とその取り組みについて親しく拝聴できますことは、私どもにとつてまことに得難い機会であります。また、北海道側からも二人の専門家が意見を發表されることになっておりますが、これを機会に、このシンポジウ

ムが今後、スウェーデンと北海道の環境問題に対する共通の認識を深め、かつ、協力関係を築いていく基盤となることを願ってやまない次第であります。

このシンポジウムは、実は、スウェーデン国王陛下ご自身の発案に基づいて企画されたものであり、そのうえ、スウェーデンの王立理工学アカデミーおよび瑞日研究開発基金が共催者となつて、開催の運びとなつたものであります。私どもは、ここに、スウェーデン国王陛下、並びにスウェーデンの関係者に対し、これまでのご指導とご支援に深い敬意と感謝の意を表するものでございます。

また、北海道側におきましても、関係機関からの強力なご支援があり、また、多くの関係団体が私どもの実行委員会に参加し、ご協力下さいましたことについても、心から感謝を申し上げます次第であります。

最後に、このシンポジウムがご列席の皆様にとつて、実り多いものとなりますようお願いするとともに、スウェーデン国王陛下、並びにスウェーデン関係者の皆様の今後のご日程がつつがなく、快適なものとなりますようご祈念申し上げて、開会のごあいさつといたします。

ありがとうございます。